

## 『 何を基準に科目選択をしましたか？ 』

本日が2年次科目選択の提出最終日でした。みなさんは自分の進路の「可能性」をよく考えて科目選択することができましたか？「可能性」とは、現時点でそれぞれが抱いている進路希望は「変わる『可能性』がある」ということです。

現時点で「調理師になりたい」と思っている、1年後には「建築士になりたい」と考えているかもしれません。それは今ある知識の中やアドバイスの中で「とりあえず（今のところ）この職業かな？」という職業選択をしている場合があるからです。自分で見つけて決めている人も、この先他の職業について理解する中で魅力を感じたり、希望が変わったりすることは珍しくはありません。その時に、自分の選択した科目によって進路が絶たれてしまったりすることが無いか？再度確認してください。特に文理選択については次の点を確認してください。

**2年次理系→3年次文系は可能。**

**2年次文系→3年次理系は（看護を除いて）不可能！！**

科目選択をする上では、自分が進む進路（大学・専門学校）でどのような受験科目が必要か？さらには入学後にどんな内容の勉強をしていくのかを考える必要があります。

「数学が苦手。だから文系の経済学部を志望します」という人がいますが、経済学においては「統計」等の数学も必須になってきます。実際に大学入学後に勉強について行けずやめてしまうケースは、大学での学習内容に対する知識不足が原因とも言えます。みなさんは自分が進もうと考えている大学や職業について、十分調べていますか？正しい知識を持っていますか？「知らなかった」「思ったのと違った」と言っても誰も何の保証もできません。

### 【美容師】

以前から人気のある職業だが、「カリスマ」ブームも手伝って人気職業に。しかし、全国の美容院数はコンビニの4倍。美容師資格所有者は1,200万人（看護師は200万人）。実際に美容師として従事している人は約50万人。目指しやすいが離職者も多い。店舗数・有資格者数としては飽和状態にあると言える。一見華やかだがはっきりとした職人の世界。



## 【建築士】

理系に進学する生徒が選択する学部。「建築なら理系だね」よく言われるが、実は建築士は文系でもなれる！文系であれば「芸術学部」系の中に建築学科が含まれる。ほぼ共通する内容について勉強するが、理系が構造・強度・耐震などのテクノロジーに強いのに対し、芸術は見え方や機能・家具などに強い。自分がどんな仕事を手がけていきたいのか？

## 【公務員】



公務員試験は大学受験とは違い適性検査や社会教養・数的理解など、大学受験の勉強とは異なる勉強が必要になります。中学卒業程度の学力でも解ける問題もあり、今のうちから取り組んでおくべきです。また、消防士や国税局職員、自衛官、警察官、警察事務、市役所等、一口に「公務員」と言っても様々な職種があります。消防や札幌・旭川市職員などは倍率も高く、国立大学以上に難関になることも珍しくありません。旭川市周辺は「上川町村会」と言い、中川町から占冠村までが範囲となります。公務員は職種や就業場所を選ばなければ合格の可能性も上がりますが就職なので、学生のように一時所属するわけではなく、そこで仕事を続けるという選択となります。本当にその職で、その町で良いですか？「受ければ良い」で決めて大丈夫ですか？

## 【看護師】

公務員と並び本校では志望者の多い職種。需要も高く、就職に困ることも少ない職業です。また、旭川市内に道立高看や厚生他、近隣でも富良野・砂川等に看護専門学校があります。看護専門学校は、3年間勉強した後国家試験に合格して就職します。大学の看護学科は、4年間の中で専門学校と同様の勉強に加え、より専門的な研究をすることで、看護師としての自信や深い知識を身につけます。また、大学卒業時に保健師や助産師の国家資格を受験できる大学もあり、キャリアの幅を広げたいのであれば、大学の看護学科へ進む方が効率よく学ぶことができます。



**あなたは自分が進もうとしている学校や職業について、どれだけ知っていますか？受験がゴールではありません。その先を調べよう。**